

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	文化財課 担当課長	西山 朗
文財－07 公開宣伝事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	文化財課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針
			文化財の保存、調査・研究、情報の充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市内に所在する文化財を紹介し、郷土への理解を深めるとともに、文化財愛護の精神の高揚を図るため。
効果	郷土への理解を深めるとともに、文化財愛護の精神の高揚を図ることにより、文化財を保護・保存し、文化財を後世に伝える。

2 平成27年度に実施した事業の概要

郷土芸能大会、文化財めぐり、遺跡調査・研究発表会、埋蔵文化財の遺跡調査速報展・地下道ギャラリーパネル写真展・庁内展示・現場見学会等の実施や、鎌倉の埋蔵文化財等の出版物の刊行等を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	1,596	当初予算(千円)	2,010	
	国県支出金	84	国県支出金	194	
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	1,512	一般財源	1,816	
	人員配置数	1.0	人員配置数	1.0	
	人件費(千円)	7,774	人件費(千円)	7,931	
事業経費運営	総事業費(千円)	9,370	総事業費(千円)	9,941	
	市民1人当りの経費(円)	53	市民1人当りの経費(円)	56	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済 ○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉郷土芸能保存協会 NPO法人鎌倉考古学研究所
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し類しの ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		文化財を広く一般に周知していくため、さらに効果的な方法・事業を検討する必要がある。
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 郷土芸能大会は、周知・宣伝・舞台設営等の外部委託方法検討により、さらに効果的な宣伝・演出を可能にし、より多くの集客が見込める。各事業において、見学者、客数が増えることで、より多くの人々に市内の文化財についての理解を深めてもらうことができる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	新規事業も実施するなど、各種事業の実施により、文化財の周知・啓発に努めてきたが、十分とは言えない。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	文化財についての情報の周知・宣伝が不十分 市内出土の遺物を展示する場所がなく、多くの遺物が収蔵施設に保管されたままで活用されていない		
課題解決のために行った平成27年度の取組	・市内の子供たちへの啓発事業として、発掘調査現場において、近隣小学校へ周知し見学を受け入れた。 ・市民・市役所職員への啓発事業として、本庁舎文化財課カウンター前に展示ケースを設置し、市内で出土した遺物を庁内展示した。市長室に出土遺物を展示した。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	機会をとらえて周知・宣伝等を行ってきたが、十分とは言えない。 遺物の展示場所の確保、再整理済み遺物の活用が十分に行えていない。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉市遺跡調査・研究発表会観客数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
観客数が多いほど、より多くの市民が、市内の埋蔵文化財への理解を深めていると判断できるため。	目標値	280	280	280	280	280		280		
	実績値	280	280							
	達成率	100.0%	100.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---